

## 第1回四日市市行財政改革推進会議概要

- 日 時:平成15年5月22日(木) 午後3時～5時
- 場 所:市役所7階部長会議室
- 出席者:委員 ----- 丸山 稲沢 鹿嶋 加藤 藤田 (敬称略)  
事務局 ----- 藤島助役 黒田財政部長 山口財政部次長 倭財政部政策推進監  
武内財政経営課長 前田補佐 舘 荒木 寛

1. 開会
2. 助役あいさつ
3. 委員紹介
4. 事務局紹介
5. 審議事項

### (1)会長及び副会長の選出

- ・事務局より、会長に丸山委員、副会長に岩崎委員を推薦。
- ・委員全員の賛成により選出。

### (2)平成 15 年度行財政推進会議の運営方針について

(事務局)

- ① 今のところ隔月開催の年 6 回を予定(テーマの内容等によっては変更あり)。
- ② 会議は原則公開とし、HP等で情報(会議概要)の提供を行う。

(加藤委員)

- ・これまで大型公共施設について、重点的に取り組んできた。
- ・会議の進め方として、事務局から説明を聞いて意見を言うだけでなく、主体的な取り組みをしていきたい。

(鹿島委員)

- ・何か具体的なテーマについて、議論していきたい。

(藤田委員)

- ・昨年度の提言書が市民にとって分かり難いとの意見が多かった。実際、読んでみたけどわからなかったという市民の声も聞いた。
- ・市民の中には行政の過剰なサービスを止めて、節約すべきとの意見もある。
- ・行革計画や提言書の内容についてうまくPRしていく必要がある。具体的に訴える方法は？

(稲沢委員)

- ・幼稚園・保育園の一元化を 16 年度に向けて推進する必要がある。
- ・三位一体(総合計画・行革計画・財政計画)の計画づくりについて、如何に市民の声を取り入れていくか、会議の活動として、如何に関わるか(タウンミーティングなど)、後押しできるか。
- ・市民と議論できるテーマをいくつか出してフォーラムなどができればよいが。

(丸山会長)

- ・事務局の考えもあると思うので、事務局で意見をもとに、今年度の進め方やテーマについて、タウンミーティングの開催も含め、検討を。

### (3)その他の議論

(藤島助役)

- ・現在スプリングレビューを進め、政策議論をしている。サマーレビューでは重点的な予算を決め、その他を枠配分予算としていく予定。
- ・「なぜ」その施策を行いたいのか、すなわち、現状にどういう問題があるのか、それを解決するために何をしたいかを明らかにすることで、次の三年に四日市市がやるべきこともあぶり出されてくるはずである。
- ・業務棚卸表に対する意見をいただけると良いが。

(稲沢委員)

- ・逗子市の試みとして、各部長に対し、部の弱み・強みなどを数値で聞いたが、答えられる部長はほとんどいなかった。
- ・業務棚卸表は(このようなことが無いように)使えるツールにしていく必要がある。いずれ市民にわかりやすいものとするとしても、今はある程度細かく、市がすべきことがわかる、政策の重点分野を計っていくためのものとしていく方がよい。

(丸山会長)

- ・どうしてそうした改革をしていくのか、市政白書などを活用し、もっと市民に説明していく必要がある。
- ・フォーラムなどで市民センターのあり方を議論してはどうか。センターの現状(四日市市は地区市民センターが多いことなど)を市民にしっかり伝える場としても必要か。

(加藤委員)

- ・会議のメンバーだけで議論する機会があっても良いのではないか。
- ・数値目標は必要。経営感覚からすればそちらの方がイメージがわかりやすい。

(丸山会長)

- ・行政の立場ではなかなか言えない(やれない)ことについて、会議として、市民感覚でものを言っていくことが我々の果たす役割である。
- ・会議の事前に30分くらいメンバーだけの時間をとって良いが。

(藤田委員)

- ・会議の場に来て意見を言うだけでなく、普段、身近な人に声をかけて意見を聞くとか、宿題を持って帰ってもよいのでは。

(藤島助役)

- ・改革をしようとして突き当たっている問題(市民や団体の反対など)をさらけ出して、会議で議論していただくのも良いのでは。それをまた公開することで市民の方々にも考えて頂けるかも。

## 6 次回会議について

平成 15 年7月18日午前 (予定)

## 7 閉会